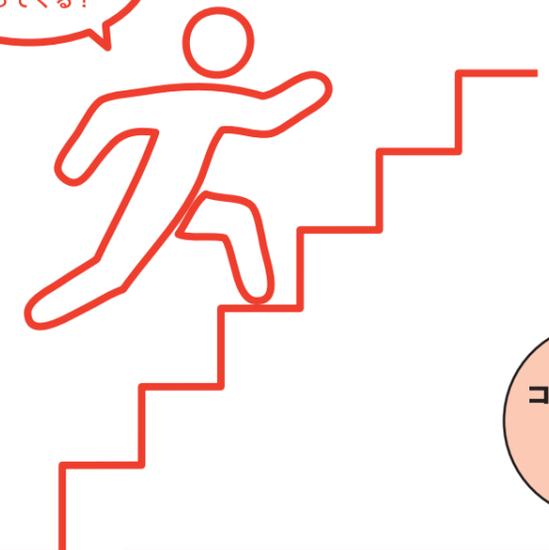


チーム イノベーション道場 in 広島

全国初！教科書にはない
最新の知見や方法をもとにMBAコース専属教授と
組織づくりのプロであるコンサルタントのコラボによる
生産性向上の新しい切り口を伝授します

この投資は
大きな財産になって
返ってくる！



コアメンバー
募集

ごあいさつ

クリステンセンは、イノベーションをもたらす人材には、積極的にものごとを結びつけ、観察し、問いかけ、実験を繰り返すという共通した素養があり、また、他者との結びつきを生み出す技能に長けていることを発見しました。

成熟が進むこれからの社会では、消費者や従業員による意思決定プロセスへの参加がますます加速すると考えます。人びとのつながりや働き方、そして生き方も技術や社会の成熟のなかで大きく変わりつつあります。

こうした社会的な構造変化で生じる新しい事業や組織では、業種の違いや規模の大小にかかわらず、現場で活躍する人材には、自律・協調的に行動できる素養が求められます。一方、組織の側にも、こうした人材をより多く引き寄せ活躍してもらうための環境整備が必要です。つまり、一人ひとりが失敗を恐れず、他者との結びつきの中から積極的にものごとを結びつけ、観察し、問いかけ、活き活きと新たな実験に挑戦し、継続的に失敗から学び続ける実践力が、個人と組織の双方に求められるようになるものと予想されるのです。

私たちは、こうした実践的な技能涵養の必要性に注目し、単に知識の習得を目指すのではなく、実際にそれらの知識を他者との協働と共創のなかで

活用する技能の涵養を目指す教育プログラムの開発に挑戦しています。

グラノベッターは、人びとのつながりから情報をもたらされる状況を分析し、結びつきの弱いつながりほど、むしろ新たなチャンスを生みやすいことを発見し、これを「弱い紐帯の強さ "strength of weak ties"」と呼びました。

私たちは、これまでなかなか協働する機会がなかった人たちを結びつけようとしています。業種や職種、所属や立場を越えた「学びの共同体」を創出することで、それぞれの組織の現場、人びとの働き方や生き方、そして地域経済に新たな変化をもたらすという大きな変革（イノベーション）に挑もうとしています。

このイノベーションは、あなたの情熱を必要としています。この教育プログラムでは、受講者、講師、運営者をはじめ、この結節点に紐付くすべての関係者が対等です。あなたが変わ革をつむぐ紐帯のコアとなるメンバーに成長されることを全力で応援します。

チームイノベーション道場 in 広島 道場長

村上敏也

カリキュラム

サービス産業の生産性向上を目指す中小事業者が集い、所属や立場を超えた学びの場が「イノベーション道場 in 広島 (T・I・E・S)」です。

この道場では、県内のサービス産業が抱える人手不足の中でも、社員のパワーを活かして、革新的なサービスの創出や付加価値向上のための、組織づくりを目指します。

プログラム及び教育手法は、慶応義塾大学等で活躍の教員と、チームイノベーション専門のスコラ・コンサルトが中心となって担当します。

基礎科目 (ディスカッション編)

▶先着20社対象

チームワーク、マインドセット、デザイン思考、レジリエンス、データ分析などのイノベーションを創出するためのマネジメントのコア科目を、具体的な経営事例の素材をもとに、受講生同士のディスカッションを通じて学んでいきます。

特徴

- イノベーションを創出するマネジメントに必要なナレッジ、スキル、チームワーク、レジリエンス等を涵養
- 実践的な授業スタイル導入 ~ケースメソッドの活用、ディスカッションを重視~

プロジェクト科目 (実践編)

▶先着20社の中から5社程度を選定

チームイノベーションサポート専門のスコラ・コンサルトのサポートで、道場で学んだ知見やノウハウを活用して、現場で、社員が自発的・自律的に革新的なサービスを創出するための組織・環境づくりを行うとともに、実際に、サービス等を企画・開発していただきます。

特徴

- 現場を活かす・人財を大切に作る視点での組織組成のためのノウハウや技法を習得 ~公式的な組織を作るのではなく、半永久的に持続できる非公式なフレキシブルな組織~
- 基礎科目(ディスカッション編)で学んだケースメソッドをすぐに実践できる、全国初の新しい切り口での生産性向上が期待できます

スケジュール

開催日程	基礎科目	プロジェクト科目
2019		
① 5/11 [±] セッション1・2	チームワーク 社員の自立性を生む心理的安全性を有した組織・チーム（インフォーマルな組織）を標榜するリーダーシップ論を学ぶ	
② 6/1 [±] セッション1	マインドセット 組織内の心理的安全性の醸成（環境）に必要な、成長思考や共同体感覚等の意識改革を測るマインドセットを学ぶ	
③ 6/22 [±] セッション2		
④ 7/13 [±] セッション1	デザイン思考 イノベーション創出に必要な最新の思考回路のノウハウを学ぶ	
⑤ 8/3 [±] セッション2		
⑥ 8/24 [±] セッション1	レジリエンス イノベーション創出に必要となる「失敗の必要性」、「失敗の耐性」の認識や、社員のチャレンジ機会の創出に必要な「寛容性」について学ぶ	
⑦ 9/14 [±] セッション2		
⑧ 9/28 [±] セッション1	データ分析 イノベーション創出による収益最大化等に取り組むために必要なデータ分析手法について学ぶ	
⑨ 11/2 [±] セッション2		
⑩ 11/30 [±] セッション1	変革コンセプト 自分の原点と会社の歴史を遡行して、確信の源となる足場をしっかりと固める	
⑪ 12/7 [±] セッション2		
⑫ 12/21 [±] セッション1	商品・サービス改良 生産性向上をけん引する、商品・サービスをチームで、どう仕立てていくか。ポイントを学ぶ	
2020		
⑬ 1/11 [±] セッション2	変革シナリオ 今日の仕事に明日をつくり出すためのスペース（時間、媒介、目標）を日常につくる具体策を決める	
⑭ 2/1 [±] セッション1	チームイノベーションまとめ 9ヵ月間、取り組んできたチームでのイノベーションを加速するためのポイントを明確にする	
⑮ 2/15 [±]	プロジェクト報告	

※開催日程と内容は変更する場合があります。

チームイノベーション道場がめざす学びのイメージ

様々な生い立ちの道場生が集い、ともに学びあい、議論を交わせる絆づくり、仲間づくり

強い意志を以って未来の創造にチャレンジできるのが人間の強み。その根本となる人間力・分野横断的な知力を鍛える場

「参加者の発言を否定しない」「他者の発言・考え方から気づきを得る」を重視し、ディスカッションに声を出して参加した分だけ成長できる

同期とのディスカッションで刺激をシャワーのように浴び、実践・行動する中で自らも成長できるありがたいスパイラル

道場の特色 ケースメソッド

ケースメソッドとは？

実際に起きた事例を教材として、あらゆる事態に適した最善策を、討議し導き出す教育手法をいいます。問題解決能力等の開発や次世代リーダー育成に有効な手法として注目されています。

道場では、このケースメソッドの手法を取り入れながら、実務と理論を融合し、リーダーシップを発揮できる人材育成を目指します。

ケースメソッドの特色

- 事実に基づいた題材を使用
- 自分自身で課題を設定し具体的な解決策を「自分事」として考え抜く。自社の課題設定、解決策の検討に生かせる
- チーム・組織で考え、行動することの大切さを体感できる。
- 基礎科目で学ぶ様々な理論を題材にあてはめ、実務に活かす疑似体験ができる。

チームイノベーション道場 in 広島 講師陣

 <p>村上 敏也 MURAKAMI, Toshiya</p> <p>金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授、博士（経営学）。学部時代から複数のITベンチャーにて奔走し、技術担当役員などを経て、慶應ビジネス・スクール修了（DBA/MBA）。東京工科大学、多摩大学、立教大学の非常勤講師、県立広島大学准教授を経て現職。人材育成による活き活きとした地域経済の革新を通じて、現場で働く人々の笑顔を増やし日本社会の豊かな成熟に貢献する。</p>	 <p>丸尾 聡 MARUO, Akira</p> <p>美術大学卒業後、コンサルティング会社を起業。実績を買われて、住友システムバンクの設立に参画。頭でっかちのコンサルティングを批判し、「ドクタバンク」をプロモーション。三井、三菱系の企業の経営トップから次々と注文を獲得し、事業計画だけでなく、資金調達、人材調達、組織づくり、協働営業に関与。つつい調子に乗って顧客と起業した企業は5社。うち2社は上場している。</p>	 <p>岡村 衡一郎 OKAMURA, Kouichiro</p> <p>スコラ・コンサルト、プロセスデザイナー。「風土改革とは、顧客の支持が今以上に高まる状態に会社を変えていくこと」が信条。顧客満足度を高める要因、低下させる要因を企業風土・体質面からとらえ、業績向上につなげていくアプローチに持ち味を発揮。短期的成果から、長期にわたって企業価値を生み出し続ける幅広い経営支援を行っている。趣味は、静かな山中での気ままなキャンプ。</p>	 <p>手塚 利男 TEZUKA, Toshiro</p> <p>スコラ・コンサルトパートナー、プロセスデザイナー。(株)プロフェス代表。大手自動車メーカーの生産部門でトヨタ方式をモデルにした開発から生産までの一貫したモノづくり革新を担当。1991年から、当時珍しかった組織風土改革に本格的に着手。独立後はプロセスデザイナーとして18年間、組織風土と仕組み・制度の両面から経営課題の解決をサポート。スロットカー製作、1/100秒単位の改善が趣味。</p>
--	--	---	---

参加者の声

宿泊業経営者

岡村さんからご指導いただいたオフサイトミーティングを参考に、休館日を設けて若手スタッフと実践しました。お菓子も用意してワイワイガガヤのミーティングになり、気がつくとも3時間が過ぎていました。「誰が何を言ってもいい」というルールを説明すると多くのアイデアが出て、社長も私もうれしく、この雰囲気でのミーティングを月1回、テーマやメンバーを変えて行うことにしました。これから当社が変わっていく予感がしています。(プロジェクト科目)

衣服製品製造業経営者

昨日の道場については、本当に有意義な時間を毎回提供いただきありがとうございました。そして発表者からのケースを通して、経営者としての覚悟や意思決定(挑戦)について感銘と同時に自分への大きな刺激を頂きました。先生方からは、愛のある叱咤激励をいただける機会や幹部社員と一緒に学べる環境、そして前向きに学びがきしみながらも挑戦しているT.I.E.S皆さんからいつも期待以上の刺激を頂いています。(基礎科目受講)



卸・小売業経営者

大変勉強になっています。いろんな考えが整理されていくと同時に、今までの自分の失敗は無駄ではなかったと肯定してあげる自分も生まれました。以前は「なるべく失敗せずビジョンに向かう会社」と考えていましたが、「失敗から学びビジョンを実現する会社」でいいのだと変わり、気が楽になりました。続けて真剣に学びます。良い機会とご縁を本当にありがとうございます。(基礎科目)

飲食店経営者

参加させていただき、非常に私自身の学びになっています。さまざまな意見や考えをお聞きすることで、多様性への寛容を深めました。事例に対して、頭のなかにあるファンタジーな部分を、どうロジカルに転換し実現していくかを学びました。一般的なセミナー形式の、講師の見解を導くための討論ではない事が、議論が終わったあと、もやもやとして考える時間を生むのだと思います。(基礎科目)

※「参加者の声」と写真は関係ありません。

チームイノベーション道場 in 広島 概要

特色

- チームイノベーション(革新的な組織づくり)のポイント・ロジックがわかる
- チームイノベーションのポイント・ロジックを自社に落とし込める
- 同じ志を持つ者との人脈づくり
- 座学ではない実践の場としてのビジネス道場

参加対象者・参加者数

- 対象者…主にサービス産業に分類される中小事業者及び従業員
- 参加者数…20社程度

日程

● 基礎科目(ディスカッション編)

▼平成31年

- ① 5月11日(土) セッション1・2
- ② 6月1日(土) セッション1
- ③ 6月22日(土) セッション2
- ④ 7月13日(土) セッション1
- ⑤ 8月3日(土) セッション2
- ⑥ 8月24日(土) セッション1
- ⑦ 9月14日(土) セッション2
- ⑧ 9月28日(土) セッション1
- ⑨ 11月2日(土) セッション2
- ⑩ 11月30日(土) セッション1
- ⑪ 12月7日(土) セッション2
- ⑫ 12月21日(土) セッション1

▼平成32年

- ⑬ 1月11日(土) セッション2
- ⑭ 2月1日(土) セッション1
- ⑮ 2月15日(土) 発表会

● プロジェクト科目(実践編)

- ① 基礎科目日程の合間に開催します。
- ② プロジェクト科目参加希望の有志とスケジュール調整し、随時開催していきます。
- ③ チームイノベーションサポート専門のコンサルタント、スコラ・コンサルトによるサポートを受けながら、基礎科目で得た気づきを実践し、革新的なサービスを創出できる自発的な組織・環境づくりを目指します。

※開催日程は変更する場合があります。

開催場所

未定(広島市内の見込みです。確定次第、参加の皆様へご連絡します)

参加費用

一人2万円程度(教材資料、書籍相当額)

参加申込先

メール syoinnov@pref.hiroshima.lg.jp

電話 082-513-3355

広島県商工労働局 イノベーション推進チーム 中小・ベンチャー企業支援グループ
担当/梅田、高田

※申込時に、会社名、住所、電話番号、代表メールアドレス、参加者名、参加者のメールアドレス、役職、をお知らせください。